

クラス番号	314	担当教員名	田中 優
		他専修学生受入上限人数	2名
テーマ	持続可能な地域社会へ向けたまちづくり・地域政策（ローカル・ガバナンス）についてデザインする		

ゼミナール概要

ゼミのねらい：

標記テーマに関する的確な文献及び資料を検索でき、それらの文献資料等を科学的根拠に基づいてレポートできることが求められます。とくに、当該セミナーの全体的な目的としては、2年間（専門演習Ⅰ・Ⅱ）を通じて、参加者の一人ひとりが今後の地域（まちづくり）政策の担い手となるために必要な問題意識・思考方法（今後の進路に関係なく求められる頭の使い方）の獲得を目指していくものとします。

授業計画・内容：

当該セミナーでは、持続可能な地域社会へ向けた＜SDGsを志向した＞まちづくり・地域政策（ローカル・ガバナンス）についてデザインを行うものとします。具体的には、岐阜県下呂市や愛知県武豊町等の連携地域を題材に、グループワークの手法などをフル活用しながら、＜他人事ではない自分事としての＞望ましい自治のあり方について（問題解決的に）解き明かしていくものとします。

すなわち、各参加者には、自らの発想でもって地域（まちづくり）の政策課題を発見し、それをチームで協働的に政策提案としてまとめ、実践していくプロセスを体験していただくことになります。

なお、3年次セミナーでは、「知識・手法の整理作業」に重点を置くとともに、「グループ活動」の楽しさ・有効性を体感するものにしたいと考えています。

【ゼミ担当教員参考】

著書：『学生・教職員・自治体職員・地域住民のための地域連携PBLの実践』（単著）ナカニシヤ出版、2018年。

：『政策実施の理論と実像』（共著）ミネルヴァ書房、2016年。

：『ローカル・ガバナメント論—地方行政のルネサンス—』（共著）ミネルヴァ書房、2012年。

研究課題：①自治体職員における政策形成能力の育成

②地域連携PBL（Problem or Project Based Learning）による学生・地域住民等の変容など

担当教員からのメッセージ



エントリーシートには、志望理由や、専門ゼミで学びたいこと、やってみたいこと、ならびに、現時点での進路希望などについて書いて下さい。とにかく、身の回りの地域（まちづくり）課題に対する自らの「気づき（興味・関心）」を、仲間との「築く（解決策立案・実践）」作業に昇華させていきたい前向きな学生の皆さんを歓迎します。学園の様々なシーンを通じて、ともに楽しく学び合いましょう（日々の新聞には目を通す習慣をつけておくこと。また、休日・休暇中には、「まちづくり・政策フィールドワーク（合宿）」＜岐阜県下呂市等遠隔地＞によく出向きますので、交通費負担含め留意すること）。＊「田中ゼミ インスタグラム」

https://www.instagram.com/nfu_fg_tanaka